



日本聖公会東京教区 **聖アンデレ教会**
 牧師 司祭フランシス下条裕章 牧師補 執事スザンナ中村真希
 〒105-0011東京都港区芝公園 3-6-18
 電話03-3431-2822 FAX 03-3434-5698
 E-mail:st-andrew.tko@nssk.org
 電話礼拝 03-3431-0250
 Web:http://www.st-andrew-tokyo.com

復活節第6主日
 2022年5月22日

礼拝案内

礼拝参加にあたって
 ※教会ホームページより動画で配信されています。
 (映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。)
 ※歌いまたは唱えるところは、小声で、または心の中で唱えます。
 ※マスクを着用し、礼拝中、席の移動はお控えください。
 ※体調や気分の不調のときは、遠慮なくお申し出ください。
 ※詳しくは、「礼拝参加にあたって(2022年5月)」等をお読みください。

↑午前7時30分 聖餐式
 聖歌 166 272 542
 司式：司祭 下条裕章
 説教：執事 中村真希

↑午前9時15分
 こどもとともにささげる礼拝(第2・第4日曜)
 聖歌 166 171

↑午前10時30分 聖餐式
 司式：司祭 下条裕章
 入堂聖歌 166

参入 1頁(162頁)
 清めの祈り 1頁(162頁)
 キリエ 2頁(163頁)
 大栄光の歌 3頁(164頁)
 特待

全能の神よ、罪人の制御できない心を治められる方はあなたのほかにはありません。どうかわたしたちに、主の戒めを喜び、主の約束を慕う恵みを与え、移り変わりの多いこの世において、常に心を変えることのない喜びに置くことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン
み言葉

使徒言行録 14章8-18節
 詩編 第67編 (週報4面)

使徒書 黙 21章22節-22章5節
 福音書前聖歌 436
 福音書 ヨハ 14章23-29節
 説教 執事 中村真希
 ニケヤ信経 9頁(166頁)
 <諸報告>
 代禱 (週報2面) 12頁(168頁)
 懺悔 13頁(170頁)
 聖餐
 平和の挨拶 15頁(171頁)
 奉獻聖歌 272
 奉獻 15頁(172頁)
 感謝聖別 [I] / [II] 16(173/176)頁

陪餐にあたって
 ※マスク着用のまま、お互いの距離をとり、案内に従って座席後方の通路を経て中央通路を聖卓に進みます。
 ※祝福を希望される方も同様に進みます。
 ※陪餐の直前にマスクを外し、手指を消毒します。
 ※手のひらで、司祭からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。
 ※マスクを着け(必要があれば手指を消毒し)席に最も近い通路部分を通して席に戻ります。

陪餐聖歌 554
 感謝 28頁(182頁)
 祝福 28頁(183頁)
 派遣
 退堂聖歌 542

↑午後5時 夕の礼拝
 詩 34 シラ 43:1-12,27-33 ヤコ 1:2-8,16-18
 聖歌 554

聖アンデレ教会にはじめて来られた方へ
 ようこそ教会へお越しくださいました。歓迎します。
 お聞きになりたいこと、分からないことなどありましたら、受付担当者までお声がけください。
 洗礼・堅信を受け、陪餐の許しのある方は、パンとぶどう酒をいただきます。また他の教派の教会で洗礼を受けて聖餐に与っている方の陪餐を許可し歓迎します。

本日の代祷 <敬称略>

一同立つ。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

ここで「一のために黙祷しましょう」と言って、感謝と代祷の項目をあげ、会衆に黙祷を求めてもよい。また会衆に感謝と代祷の題目を求めてもよい。黙祷に代えて祈り書中の適当な祈りを用いてもよい。

「ことに」の後に適当な名前をあげてもよい。

※（ ）内は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会 - 全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会 (フランシスコ・ザビエル下条裕章司祭 /

スザンナ中村真希執事、トマス日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き

教会に関わる諸団体の働き

[東京教区(フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)]

聖アンデレ主教座聖堂、教区事務所

聖オルバン教会 (マイケル・D・モイアー司祭)

清瀬聖母教会、全生園聖フランシスコ聖エリザベツ

礼拝堂、環状教会グループ(協議会、牧師協議会)

[東日本宣教協働区(北海道・東北・北関東・東京教区)]

各教区と宣教協働委員会の働き

北関東教区の教会、施設の働き、ことに宇都宮聖

ヨハネ教会、幸手基督教会、高崎聖オーガスチン

教会

[日本聖公会 (首座主教ルカ武藤謙一主教)]

京都教区 ステパノ高地敬主教と教区のすべての

教会、施設の働きのため

[アメリカ聖公会メリーランド教区

(ユージン・テラー・サットン主教)]

タウソン 聖トマス教会

ビショップ・クラゲットセンター(教区リトリート

センター)

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

エルサレム 聖ジョージ学園

[全世界の聖公会

(ジャスティン・ウェルビー カンタベリー大主教)]

東南アジア聖公会のため

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

アジア学院 (ARI)

NCC 中国委員会

を強めて、み子のみ業を行わせてください。すべての聖職と信徒、ことにわたしたちの主教

フランシスコ・ザビエル
を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに一致させ、日々主の栄光をこの世に現す者とならせてください

会衆 主よ、お聞きください

各応唱の後に、しばらく黙祷してもよい。

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに

戦争の終結、世界の平和と和解の実現のため

日本国と世界各国・地域の人びと、ことにそれ

らの指導的立場の人びと

に知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。

互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と

隣り人、ことに

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの

家族、友人、同僚、心にかけている人びと

愛と平和と正義の実現のために働く人びと

困難な人びとを支える働きのため、浅草聖ヨハネ

教会日曜給食活動、こども食堂等に関わる人びと

洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人、

また入信の志願者が与えられるため

聖アンデレ教会に連なるすべての人びと

この地域で生活し、働いている人びと

[今月の代祷・信施奉獻先]

・神学校のため (復活節第4主日)

・教区子どもたちへの活動のため

(東京教区 SS ネットワーク)

・教区中高生世代活動のため

(教区中高生キャンプ準備会)

・カルト問題キリスト教連絡会の働きのため

・アジア・エキュメニカル週間

(5.29~6.4 / 日本キリスト教協議会 NCC)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛

することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人の、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに

感染症の収束のため、療養中、困難や悲しみの中

にある人びと、医療と看護、支援に携わる人びと

戦争や暴力、犯罪や差別、また軍事基地の存在のため、いのちの危険を感じている人びと
震災や風水害、世界各地の自然災害、また原子力発電所事故のため、困難な状況にある人びと
孤独な人、祈りの友のない人、希望を見失いつつある人びと

自由を奪われ、拘束されている人びと
住む場所を追われた人びと

[病床にある人]

を顧み、み力を与えて、勇氣と希望を増し加え、
主の救いの喜びに導いてください

会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>

代禱者 神よ、世を去ったすべての人、ことに

[今週逝去の記念日を迎える方々]

戦争や暴力の犠牲となった人

を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてください。わたしたちは主の証人たちに与えられた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国の栄光にあずかせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト
によってお願いいたします アーメン

<お知らせ>

- ◇ 聖アンデレ教会の将来計画説明会「西側崖地の安全対策と牧師館の老朽化問題を考える」の第一回説明会が6月5日と12日の正午から、礼拝堂で行われます。ご参加ください。(2回とも同じ内容になります。ホームページより動画配信)
- ◇ 城南教会 G 教役者歓送迎会が本日 14 時半より ZOOM で行われます。参加希望の方はお申し出ください。
- ◇ 礼拝参加については「礼拝参加にあたって(2022年5月)」(掲示/教会ホームページに掲載)をご参照ください。
- ◇ 聖堂の扉は、日中(朝8時頃から夕方5時頃)開いています。個人の祈りや黙想が可能です。
- ◇ 聖堂の様子は、動画配信されています。教会ホームページの「礼拝ライブ配信」をクリックすると見ることができます。
- ◇ 主日・週日の礼拝は、上の動画配信のほか、礼拝電話(03-3431-0250)から音声を聴くことができます。

- ◇ 「週報」をメール(または FAX)で受け取られる方を希望される方は教会までご連絡ください。(教会ホームページには毎週掲載されています。)
- ◇ 教会連絡網への登録をお願いします。メールでの連絡(お知らせ、訃報等)をご希望の方は st.andrews.tokyo.office@gmail.com へ、(FAXで連絡をご希望の方は教会 FAX へ)お名前と連絡先をお知らせください。
- ◇ 住所・連絡先に変更がありますときは、教会まで早速ご連絡ください。
- ◇ ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自宅や病床での陪餐を希望される方は教会までご連絡ください。
- ◇ 聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。「今、福音に聴く—ルカによる福音書の通読とメッセージ—」ほか。日々の信仰生活にお役立てください。

聖アンデレ教会広報チャンネルで検索

- ◇ 聖アンデレ教会フェイスブックページから、折々の教会の様子やお知らせをお伝えしています。フェイスブックで **聖アンデレ教会**で検索

詩編 第 67 編

- 1 神よ、わたしたちを恵み祝し // み顔の光を照らしてください
- 2 あなたの道が世界に知られ // 救いがすべての国に知られるように
- 3 神よ、諸国の民があなたをたたえ // すべての民があなたをたたえるように
- 4 すべての国は喜び歌え // あなたはみ民を正しく審き、地の諸国の民を導かれる
- 5 神よ、諸国の民があなたをたたえ // すべての民があなたをたたえるように
- 6 地は豊かに実り // 神はわたしたちを祝福された
- 7 神よ、わたしたちを祝福し // 地の果てに至るまで神を畏れさせてください

24日(火) 7時半 礼拝

使 16:22-34 詩 138 ヨハ 16:5-11

撮影・収録(下条・中村)

15時半 来客(下条)

25日(水) 使 17:15,22-18:1 詩 148:1-2,11-14

ヨハ 16:12-15

※下条司祭定休

18時 教役者研修会(ZOOM)

26日(木) 昇天日

7時半 礼拝

使 1:1-11 詩 110:1-5 エフエ 1:15-23 ルカ 24:49-53

※中村執事休

19時 西側崖地 P (ZOOM)

27日(金) 7時半 礼拝

使 18:9-18 詩 47:1-6 ヨハ 16:20-23

16時 ビルグリム黙想会(ナザレ修道院)

28日(土) 7時半 礼拝(※動画配信はありません)

使 18:22-28 詩 47:1-2,7-9 ヨハ 16:23-28

ビルグリム黙想会(終日)

19時 結婚式リハーサル

29日(日) 復活節第7主日(昇天後主日)

7時半 聖餐式

10時半 聖餐式

使 16:16-34 詩 24

黙 22:12-14,16-17,20 ヨハ 17:20-26

入堂聖歌 187 奉献聖歌 260 退堂聖歌 327

17時 夕の礼拝

13時半 西側崖地 P 打ち合わせ

17時 聖路加夕の礼拝(中村)

本日・今週の予定

22日(日) 復活節第6主日

7時半 聖餐式

9時15分 こどもとともにささげる礼拝

10時半 聖餐式

17時 夕の礼拝

12時半 BS面接(下条)

13時半 城南教会グループ協議会(ZOOM)

14時半 城南教会グループ教役者歓送迎会(ZOOM)

23日(月) 7時半 礼拝

使 16:11-15 詩 149:1-5 ヨハ 15:26-16:4

※中村執事聖路加出勤日

10時 結婚式リハーサル

19時 信仰と生活委員会(中村・ZOOM)

今週のメッセージ

イエスをキリストと崇め、その御跡に従う私たちは、イエスが示した「神の国」の完成を目指し歩むという信仰を共有しています。「神の国」とはこの地上のどこかのテリトリーを指すのではなく、「神の支配が行き届いている状態」を表します。

今日読まれたヨハネの黙示録は、新約聖書の最後に収められている書物で、まさしくその「神の支配」が完成された様子を描いているものです。多くのシンボルやイメージを用いて表現されることからその難解さは有名で、普段聖書を読む我々も何となく気軽に読み進められない印象を持っています。しかしヨハネが示そうとした豊かな終末のビジョン、神の支配の完成の表現は、その完成に向かって歩いている私たちが何を目指しているのかというヒントがたくさん含まれていると思います。

神の国=神の支配が行き届く世界は、神の栄光がすべてを照らしており、その光の中を民は歩きます。都の大通りの中央には命の水の川が流れ、兩岸には命の木があって、毎月実が実り、民は誰一人飢えることはありません。その木の葉は病を癒やし、「呪われる者は何一つない。」すなわち、あらゆる痛みや傷は癒やされ、憎しみや傷つけ合うこともないということでしょう。神のしもべたちは神を礼拝し、直接御顔を仰ぎ見ます。そしてその額には神の名が記されています。神のしもべたちはその姿からも明白に神様に従う者であることが明らかなのです。

地上における神の支配の実現はなかなか難しそうです。この黙示録が書かれた、およそ 2000 年近く前のヨハネの時代も、外からは教会が迫害を受け、内部では異なる思想に翻弄され、分裂や対立が起り、その中で必死に神の言葉に聴き、信仰を模索しながら教会は歩んできたのです。現代に生きる私たちもまた、キリストが示している道は何なのか、常に模索葛藤しながら歩んでいます。どの道が正しいのかは分かりませんが、このように聖書に示されたビジョンを手掛かりに、神の支配の実現を少しでも世に現わしていけるように、歩んでいく私たちでありたいと願います。

執事 スザンナ中村真希